

CSR活動

当社は、2011年3月期にスタートした新中期経営計画の中において、企業として社会的責任を果たすことを重要な経営課題と位置づけ、「コンプライアンス」「環境への取り組み」「リスクマネジメントの推進」「社会貢献への取り組み」の4つの活動を実施していきます。

コンプライアンス

当社は、コンプライアンス体制の強化を進めるとともに、法令や倫理にかんがった事業活動の重要性を、本社を始め子会社、フランチャイズ店舗を含むオートバックスグループの全店に周知徹底しています。

コンプライアンスの基本体制

当グループでは、法令や企業倫理の遵守は当然のことであり、コンプライアンスはその当然の行動を大前提として、全てのステークホルダーの正当な期待にこたえる「行動規範」と「行動指針」を明確に定義し、これを基本原理として、当社内にとどまらずフランチャイズチェーン加盟法人に対しても、コンプライアンスの徹底及び啓蒙活動を推進しています。

具体的な取り組みとして、関連部門で構成する「コンプライアンス事務局会議」を毎月実施し、「行動規範」「行動指針」から外れた行為の有無について、確認を行い問題が認識されれば迅速に対応する体制を構築しています。

オートバックスセブングループ行動規範と行動指針

<http://www.autobacs.co.jp/ja/csr/koudoukihan.html>

オレンジホットライン

オートバックスグループでは、コンプライアンスに関する通報制度として「オレンジホットライン」(グループ内通報制度)を導入しています。これにより、グループ内における相互監視機能が働き、役員及び従業員のコンプライアンスへの意識向上が図られるだけでなく、倫理から外れた行動の早期発見が可能となります。

商品の品質管理活動

当社では、商品の品質を「品質管理規程」に沿って管理しています。当社が販売元であるPB^{*1}商品はもとより、NB^{*2}商品についても製造メーカーや仕入先と連携し、商品本体または商品使用時の適法性や、PL法に基づく消費者保護の観点など多面的な商品の管理を行っています。

※1 プライベートブランド

※2 ナショナルブランド

1. 低品質の商品を水際で防ぐ活動

当社は多くのPB商品の製造を海外工場に委託していますが、品質の安定化を目指し、製造現場での監査・助言を行っています。また、PB商品は工場出荷の直前、またはロジスティクスセンターに入荷した時点で、世界的に広く採用されている合格品質基準(AQL=Acceptable Quality Level)に基づいて検査を行っています。さらに、PB商品、NB商品を問わず、全ての取引先に対し、適宜、商品の不具合情報を提供し低品質の商品を水際で防ぐ活動をしています。



AQL 抜取基準に基づく検品作業の様子

2. 低品質商品によって引き起こされた諸案件への対処・対策

NB商品の中にも、稀に不良品が含まれています。このような場合、当社では、取引先に対して対策書の提出を義務づけ、製造工程にまで踏み込んだ再発防止策の検討・提案を行っています。また、ネット環境を利用したグループ内掲示板「商品不具合ホットライン」を導入し、タイムリーな情報を各グループ店舗と共有しています。

3. 取扱商品に関連するコンプライアンス対応

オートバックスチェーンでは、「オリジナリティ溢れるクルマにしたい」というお客様のカスタマイズニーズに対して優れた技術でおこたえするため、店舗で製作したカスタマイズ車両に対して技術コンテストを行うなどして、その技術力の向上に努めています。合わせて、お客様に安心してカーライフを楽しんでいただけるように、カスタマイズに際しては、道路運送車両法の保安基準の適合性チェックを行っています。

また、当社は業界のリーディングカンパニーの使命として、APARA(自動車用品小売業協会:小売業団体)やAAAL(オートアフターマーケット活性化連合:製造販売の連合団体)の活動に積極的に参画し、業界のコンプライアンス活動の推進にも注力しています。

環境への取り組み

当社は自動車に関わる事業を展開しており、環境に対する取り組みは重要課題と認識し、店舗における環境活動やフランチャイズ本部として環境負荷の少ない事業運営を行っています。

店舗におけるCO₂排出量削減目標の設定

2010年3月期のオートバックスチェーン全体で排出された年間のCO₂排出量は約9万トンです。今後はグループ全体のCO₂排出量削減に対する意識の向上を図るとともに、将来のチェーン全体での排出量削減目標を検討していきます。

店舗から出る廃棄物の適正処理とリサイクル

店舗のピットでは、タイヤ、オイル、バッテリーなどの廃棄物が発生します。当社ではこうした廃棄物を適正に処理するため、廃棄物処理業者に委託し、不法処理や不法投棄をグループ全体として防止しているほか、インターネットを利用して全店舗の委託処理業者の許可証情報や委託契約、マニフェスト運用などの委託状況及び適法性を管理しています。また、廃タイヤ、廃オイル、廃バッテリーのリサイクル率は8割以上であり、各種燃料や原料としての再利用を推進しています。

包装資源の環境負荷低減

当社ロジスティクスセンターから数多くの商品を国内約500店舗に配送していますが、その際に繰り返し使用できる折り畳みコンテナや緩衝材を活用することなどによって、廃材となるダンボールなどの使用を最低限にするよう努めています。

また、カー用品小売の業界団体と連携して、各店舗において、ポスターの掲示やお客様への声掛けによるレジ袋の使用削減の取り組みを推進しています。

環境配慮型店舗の実験

当社は、店舗の設備面においても環境負荷の低減に努めています。従来から店舗では省エネタイプの蛍光灯や空調設備の導入などをフランチャイズ加盟店に推奨し、導入を進めてきましたが、2010年9月オープン予定の「オートバックスいかるが店(仮称)」と2011年3月オープン予定の「オートバックス府中武蔵台店(仮称)」において、環境配慮型の店舗の実験を行うこととしました。これらの店舗では、空調、照明、太陽光発電、屋上緑化など様々な設備を導入することにより、従来店舗の標

準年間エネルギー消費量に対し、約30%削減することが可能となる見込みです。また、店舗内では、電気の使用量と削減量、CO₂削減量を表示するモニターを設置し、お客様と従業員がともに環境への意識を向上させるような試みも行う予定です。

清掃活動

当社は2002年より富士山において清掃活動を行っています。この活動は環境・社会への貢献のみならず、社員への環境啓発の一環として始めたものでFC法人も含めたオートバックスチェーン全体からボランティアを募り、毎年秋に行っています。残念ながら富士山麓には不法に投棄されたゴミが多く、しかもその中には廃タイヤや廃バッテリーなども含まれています。当グループにとっては、心ない人々が不法に捨てた廃棄物を回収することも事業を営むために必要な取り組みの一つと認識しています。

また、企業市民として地域に貢献するため、2005年以降毎週、本社所在地周辺の清掃活動を実施し、環境美化に努めています。



富士山麓での清掃活動風景

リスクマネジメントの推進

当社は、オートバックスセブングループを挙げて「統合リスクマネジメント」に継続的に取り組み、ステークホルダーから信頼される企業グループを目指しています。

統合リスクマネジメント方針

当社は、平時におけるリスクマネジメント体制及び有事における危機管理態勢を統合した統合リスクマネジメント態勢を確立し、統合リスクマネジメントに継続的に取り組むことが企業の社会的責任につながると考え、統合リスクマネジメントの原則を「統合リスクマネジメント方針」として定めています。

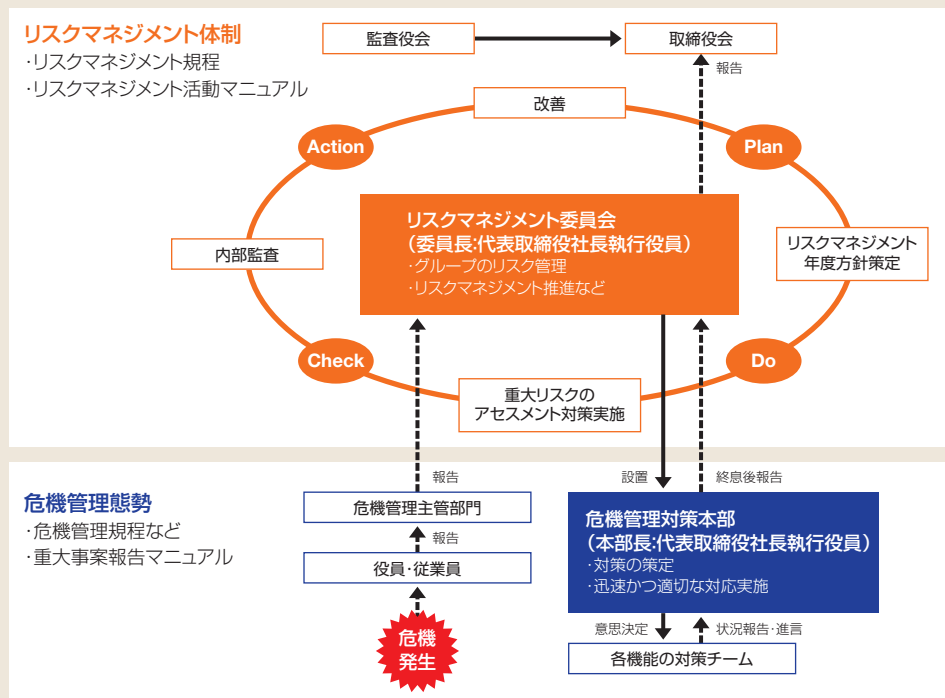
また、様々なリスクの的確な把握・評価と適切なコントロールを行うため、代表取締役社長執行役員を委員長とするリスクマネジメント委員会においてオートバックスグループにおけるリスクの管理及び全社的なリスクマネジメントシステムの構築、推進を行っています。

重大な影響を及ぼす不測事態が発生または発生する恐れが生じた場合には、リスクマネジメント委員長である代表取締役社長執行役員が「危機管理対策本部」を設置し、自ら指揮を執り、迅速かつ適切な対応と回復に努めることとしています。

統合リスクマネジメント方針

<http://www.autobacs.co.jp/ja/csr/riskmanagement.html>

統合リスクマネジメント態勢



※リスクマネジメント体制及び危機管理態勢を含めて「統合リスクマネジメント態勢」としています。
 ※「危機」とは、オートバックスセブングループの経営または事業継続に重大な影響を与える恐れのある、または与えた事象を指します。
 ※組織を常設する「体制」に加え、身構えや心構えを含めて「態勢」としています。

その他社会貢献への取り組み

当社は、オートバックスチェーンの店舗がお客様から支持・信頼を得るためには、店舗の存在する地域に対する社会貢献は不可欠と考えています。そのため、各店舗や地域ごとの事業部において、清掃活動や地域のイベントへの協賛などを行っています。

キッズニアへのパビリオン出店

当社は子供向け職業体験テーマパーク「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」に、パビリオン「カーライフサポートセンター」を出展しています。自動車に触れる楽しさを子供たちに知ってもらうとともに、交通ルールに関する理解の促進と、今後の安全なクルマ社会の構築に寄与することを目的としています。



その他の活動

当社はクルマを楽しむ場所と機会を提供することも社会貢献の一つと考え、国内で最も人気のある自動車レース「SUPER GT」シリーズを始め様々なモータースポーツに協賛するとともに、「ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI) Project」を設立し、世界に通用する日本人ドライバー育成の支援をしています。

